

電 力 情 報

NO. 8

平成 27 年 4 月 30 日
東 北 電 力 (株)

3 月分の電力需給実績について

1. 電力需要について（表 - 1 参照）

3 月分の販売電力量は、69 億 2,100 万 kWh、前年比 96.6% の実績となりました。東日本大震災からの復興の動きなどが続いているものの、前年に比べ気温が高かったことによる暖房需要の減少などから、2 カ月連続で前年実績を下回りました。用途別の実績については、以下のとおりです。

特定規模需要以外の需要（自由化対象以外のお客さま）

電灯は、東日本大震災からの復興の動きなどが続いているものの、前年に比べ気温が高かったことによる暖房需要の減少などから、前年比 97.4% の実績となり、2 カ月連続で前年実績を下回りました。

特定規模需要以外の需要の合計では、前年比 96.7% の実績となりました。

特定規模需要（自由化対象のお客さま）

業務用電力は、需要回復の動きが続いているものの、前年に比べ気温が高かったことによる暖房需要の減少などから、前年比 96.0% の実績となり、2 カ月連続で前年実績を下回りました。

特定規模需要の合計では、前年比 96.6% の実績となりました。

なお、産業用その他電力については、大口電力が大きなウエートを占めており、その概要は以下の参考のとおりです。

[参 考]

大口電力

大口電力は、復興需要や一部業種で生産回復の動きが続いているものの、一部の生産減などから、前年比 96.9% の実績となりました。

2．供給力について（表 - 2 参照）

3月の発受電電力量の合計は、74億3,300万kWh、前年比95.1%の実績となり、3カ月連続で前年実績を下回りました。

（自社水力）

出水率113.9%の豊水となり、前年出水率を10.9%上回ったことなどから、発電量は前年を1億8,400万kWh上回る8億4,300万kWhとなりました。

（自社火力）

運転状況の違いなどから、発電量は前年を10億4,200万kWh下回る49億6,700万kWhとなりました。

（自社原子力）

定期検査により、女川原子力発電所の全号機と東通原子力発電所1号機が運転を停止していることから、発電量はありませんでした。

（自社新エネルギー等）

地熱発電所の蒸気量の増加などから、発電量は前年を1,100万kWh上回る9,000万kWhとなりました。

（他社受電）

他社火力の運転状況の違いなどから、他社受電合計では前年を1億6,000万kWh上回る19億4,200万kWhとなりました。

以 上